

- 06/11・G7貿易戦争リスク 鉄鋼関税、米を説得できず トランプ氏「車でも検討」
サミット、米逆走で混沌の淵 トランプ氏、G7首脳宣言「承認せず」
- 06/12・米朝首脳が初会談 (シンガポール)
金正恩氏 シンガポールの「知識・経験」学ぶ 観光名所を視察
・安倍首相 インド太平洋地域インフラ整備に「投融資5.5兆円」
- 06/13・米朝「完全非核化」確認 体制保証を約束 < 1 >
時期や検証先送り 朝鮮戦争終結盛らず トランプ氏「拉致を提起」
- 06/14・米、3カ月ぶり利上げ 13日FOMC (米連邦公開市場委員会) < 2 >
0.25%上げ年1.75~2.00%に 年4回に加速見込む 主要国で唯一2%
利上げシナリオに迷い FRB「貿易戦争」リスク意識 減税効果、冷やす恐れ
・中国、投資の伸び最低水準 1-5月前年同期比6.1%増 金融監督の強化で
- 06/15・欧州、年内に量的緩和終了 ECB利上げ来年夏以降 米に続き「平時」へ< 3 >
14日理事会 逆風下の緩和終了、景気・伊政局にリスク
緩和終了「ハト派」(緩和継続派)も支持 イタリア国債購入に危機感
・日銀、緩和を維持 景気判断も据え置き (15日金融政策決定会合)
物価停滞、悩める日銀 正常化、米欧に遅れ 緩和継続の先見通せず
・民泊新法 手探りの初日 年間上限180日など厳しいルールで届け出数は少数
・IMF、米景気「20年以降に減速」見通し公表 減税効果は一時的
・アルゼンチン通貨急落 米利上げ加速で資金流出
- 06/16・米、対中制裁関税発動へ (15日発表) 来月から2段階25%、5.5兆円分< 4 >
対中制裁、米企業も反発 小売協会「関税、家計を圧迫」 鉄鋼価格、4割上昇
・中国、米に報復関税5.5兆円分 来月から同規模 農産物・エネルギーに < 5 >
米通商代表部「中国からの投資規制」 月内に発表
・8月米韓軍事演習中止へ 東アジアの安保に懸念
トランプ氏、米朝電話協議「いつでも可能」
・コロンビア TPP加盟、正式申請
・浮上する「70歳定年制」 高齢者活用「骨太方針」に布石 人手不足に対応
・プルトニウム削減、多難 国際社会の圧力、政府動かす 負担増、電力経営を圧迫
- 06/17・米関税、報復の連鎖 中国5.5兆円、欧州カナダも発動へ < 6 >
世界景気、下振れ懸念 日本、米の強硬姿勢警戒 インドも追加関税30品目に
貿易コストが1割上昇すれば世界のGDP1.4%下振れ 米も60万人超の雇用減

<1>

米朝共同声明のポイント

- 。金正恩委員長は朝鮮半島の完全非核化を約束
- 。トランプ米大統領は北朝鮮の体制保証を約束
- 。朝鮮半島で持続的な平和体制を築くため努力
- 。何十年にもわたる緊張状態や敵対関係を克服する上で大きな意義
- 。成果実行へ米朝高官で交渉継続

<2>



<3>

ECB理事会の決定内容

- 。量的緩和政策は年内に終了
- 。資産購入額(月300億ドル)を10月から150億ドルにいったん減額し、12月末でゼロに保有する国債の残高は当面維持
- 。政策金利は少なくとも2019年夏までは現在の水準に

<4>

米政権が発表した
対中制裁関税の最終リスト

※1102品目(500億ドル相当)に25%の追加関税

①818品目(340億ドル)
7月6日に発動
産業用ロボットや電子部品、自動車など
※原案からテレビなど一部製品を除外

②284品目(160億ドル)
一般の意見募集後に発動
化学品や産業機械、鉄道など
※「中国製造2025」の重点分野から追加

<5>

中国の報復措置も米国と同じ2段階に

545品目(340億ドル)→7月6日に発動

- 。大豆
- 。牛肉、豚肉、鶏肉
- 。マグロ、エビ、カニ、フカヒレ、ホタテ
- 。ジャガイモ、タマネギ、キュウリ、ホウレンソウ
- 。マンゴー、オレンジ、ブドウ、リンゴ
- 。ウイスキー、たばこ
- 。綿花
- 。乗用車、電気自動車

114品目(160億ドル)→発動時期は今後決定

- 。原油、天然ガス、石炭
- 。エチレン
- 。医療器具

合計659品目(500億ドル)に25%の関税上乘せ

<6> トランプ米政権は貿易で各国・地域と対立している

